「お」で始まる語彙辞典（マイナー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「お」で始まる語彙辞典（マイナー） 4

おわりに 11

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「お」で始まる語彙辞典（マイナー）

老(お)い木(き)に花
一度衰えたものがまた栄えることのたとえ。

おい - ざけ【追い酒】
酒を十分に飲んだうえに、さらに飲む酒。

おい - せん【追（い）銭】
支払ったうえに、さらに余分に払う金。おいがね。「盗人に―」

おいだし - べや【追（い）出し部屋】
企業が社員に退職を勧奨することを主な目的として設置する部署。解雇したい社員を配属し、十分な仕事を与えない、本人の意に沿わない仕事をさせるなどして、退職に追い込む。

おい - ばら【追（い）腹】
家来が、死んだ主君のあとを追って切腹すること。供腹(ともばら)。「―を切る」⇔先腹(さきばら)。

おう - い【王威】
王のもつ威光。威厳。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おう - おう【汪汪】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
水が豊かにたたえられているさま。転じて、人の心の広いさま。「―たる大河」

おう - おう【怏怏】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
心が満ち足りないさま。晴れ晴れしないさま。「―として楽しまず」

おう - か【横禍】
思いがけない災難。

おう - が【横臥】
［名］（スル）
横になって寝ること。からだを横たえること。「ベッドに―している」

おう - ぎょう【王業】
国王が国を統治する事業。また、その業績。「代々の―を記す」

おうけ - づ・く【王気付く】
［動カ四］
王者らしい風格が備わる。

おう - さつ【殴殺】
［名］（スル）
なぐり殺すこと。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おう - しん【桜唇】
美人の唇の小さく美しいさまを桜にたとえていう語。

応接(おうせつ)に暇(いとま)がな・い
《「世説新語」言語から》
応接に追われて休む間のないほど、次々に人が訪れる。また、状況が次々と変化して、十分に応じきれない。

負(お)うた子(こ)より抱(だ)いた子
離れている者よりも、身近な者をまず大切にするのが人情の常であるということのたとえ。

おう - ひ【応否】
承諾することと承諾しないこと。

おう - よう【汪洋】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 水量が豊富で、水面が遠く広がっているさま。「―として光っている大河」
② ゆったりとしたさま。広々と大きいさま。「―たる宇宙」

大向(おおむ)こうを唸(うな)ら・せる
役者が、うまい芸で大向こうの観客を感嘆させる。
また、一般にすぐれた技巧で多くの人々の人気を博する。

御株(おかぶ)を奪(うば)・う
その人の得意とすることを別の人間がうまくやってのける。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

陸(おか)へ上がった河童(かっぱ)
《河童は水中では能力を十分発揮できるが、陸に上がると力がなくなるとされるところから》
力のある者が、環境が一変するとまったく無力になってしまうことのたとえ。

おか - よい【陸酔い】
［名］（スル）
船に乗っていた人が、下船後もしばらく体が揺れているように感じること。→船酔い

おくびょう - がみ【臆病神】
臆病な心を起こさせるという神。「―にとりつかれる」

おこない - すま・す【行い澄ます】
［動サ五（四）］
自分だけが悟っているかのように振る舞う。もっともらしく、殊勝に振る舞う。気どる。「すっかり、―・した顔でいる」

瘧(おこり)が落・ちる
ある物事に夢中になっていた状態から覚める。「―・ちたように立ち直る」

お - しゅう【汚臭】
くさいにおい。悪臭。

お - しゅう【汚習】
よくない習慣。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おしろい - くさ・い【白粉臭い】
［形］［文］おしろいくさ・し［ク］
① おしろいのにおいがする。
② 水商売のような感じがする。「―・いところが残る」

おっ - け【臆見】
憶測による意見。無責任な推量に基づく意見。おくけん。

おとこ - でいり【男出入り】
男性関係のもめごと。「―の絶えない女」

おとこ - ひでり【男旱り】
男が少ないため、女が結婚や恋愛などの相手を求めにくいこと。⇔女ひでり。

鬼(おに)に衣(ころも)
表面は慈悲深そうなようすをしていても、内心は鬼のように恐ろしいこと。狼(おおかみ)に衣(ころも)

親方(おやかた)日(ひ)の丸(まる)
《親方は日の丸、すなわち国の意》
官庁や公営企業は、経営に破綻(はたん)をきたしても、倒産する心配がないので、厳しさに欠け、経営が安易になりやすい点を皮肉っていう語。

おや - がかり【親掛（か）り】
子がまだ自立できないで、親に養われていること。また、その人。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

親(おや)の光(ひかり)は七光(ななひかり)
親の社会的地位や名声が高いと、子はそのおかげを受けることが大きいということ。親の七光。

親(おや)は無くとも子(こ)は育つ
実の親がいなくとも、子はどうにか成長していくものだ。世の中のことはそう心配するほどのこともないというたとえ。

おれ‐こ・む【折れ込む】
［動マ五（四）］
① 内側に折れ曲がる。「奥へ―・んだ路地」
② 折れた先が内部に入る。「針が指先に―・む」

おわれ‐ごごろ【追われ心】
いつも何かに追われているようで、せかせかと落ち着かない気分をいう。

尾(お)を見・せる
《化けた狐(きつね)が尾を出して正体を現す意から》
今まで隠していた実態が現れる。やりくりに破綻(はたん)をきたす。尾を出す。

おん‐し【恩賜】
天皇・君主から物を賜ること。また、その賜り物。「―のたばこ」

おん‐しゃく【恩借】
［名］
人の好意によって金銭や品物を借り受けること。また、その金品。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おんじゅう - とんこう【温柔敦厚】
《「礼記」経解から》
人柄などが穏やかで優しく、誠実で人情に厚いこと。温厚篤実。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.